

愛媛県自治会館新会館建設設計等委託業務 プロポーザル二次審査講評

愛媛県自治会館新会館建設設計等委託業務業者特定会議

1 はじめに

プロポーザル方式による審査は、提出された技術提案書に基づき、愛媛県自治会館新会館の基本構想（以下「基本構想」という。）の内容を十分に理解し、安全・安心、誰もが利用しやすい、機能的、経済的な会館を建設するための設計ができ、また、本組合及び入居団体の意見を柔軟に取り入れながら、設計業務を進めていくことができる設計者を選定することを目的としている。したがって、技術提案がそのまま設計に反映されるものではなく、十分な検討を踏まえて、基本設計・実施設計に至るものである。

愛媛県自治会館新会館建設設計等委託業務業者特定会議は、厳正な審査を行い、基本構想に示された基本的な考え方や技術提案の課題として提示した3つの課題を的確に理解し、優れた技術提案を行った設計者を選定した。

2 技術提案の課題

課題1：耐震性能及び防災機能についての提案

課題2：建設コスト及びライフサイクルコストの低減についての提案

課題3：入居団体等の規模毎に対応可能な効率的なフロア構造・整備計画についての提案

3 技術提案書等の提出状況

技術提案書等の提出要請を行った3者とも、提出期限である平成31年3月4日までに提出があり、3者について審査を行った。

4 二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）

二次審査（第2回愛媛県自治会館新会館建設設計等委託業務業者特定会議）を次のとおり実施した。

・実施会場：愛媛県自治会館 4階 会議室

・実施日時：平成31年3月22日（金）11時00分から14時30分まで

プレゼンテーション及びヒアリング審査は、技術提案書等の受付順にヒアリング審査の順番を記入したくじ引きにより決定した順番で実施した。

説明者は、管理技術者及び各主任技術者等の5名以内とし、それぞれ20分間のプレゼンテーションの後、引き続き10分間のヒアリングを実施した。

すべてのプレゼンテーション及びヒアリングが終了後、審査委員一人当たり3つの課題に対する技術提案書の評価として30点、実施体制の評価として10点、設計方針として10点、実現性・的確性の評価として10点、プレゼンテーション及びヒアリングの評価として10点、設計委託業務見積価格として30点、合計100点満点（審査委員5名の合計500点満点）にて、各審査委員の採点結果を集計し、得点上位の者を最優秀者として決定した。

- ・最優秀者 新企画設計株式会社
- ・優秀者 株式会社 鳳建築設計事務所
- ・ 株式会社 大建設計工務

ヒアリングにおいては、参加した3者とも、技術提案の課題について、独自の視点で提案されており、愛媛県自治会館新会館建設設計業務に向けた意気込みを感じることができた。最優秀者、次点者ともに提案の内容は、総合的に優れており、愛媛県自治会館新会館の建物レイアウト、防災対策、環境対策、ライフサイクルコストの低減等について、十分に理解された提案内容であった。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた技術提案書提案者に心より感謝する。

また、今後、選定された者と関係者各位の連携によって、耐震性及び防災機能に優れた愛媛県自治会館が整備されることを祈願する。